

事業所名 グループホームもたろうの郷ひなた苑
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 2月16日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 デイサービスセンター管理者
資格・経験 社会福祉士、介護支援専門員、ホームヘルパー2級
B:現職 民間教育機関講師
資格・経験 介護支援専門員、ホームヘルパー2級、難病患者等ホームヘルパー、福祉環境コーディネーター、歯科衛生士(14年)

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・管理者は、ミーティングなどを通じて現場スタッフの声を大切にしながら介護のあり方を常に考える姿勢を持ち、職員全員の目線を合わせ、統一した質の高い介護サービスの提供を志している。日頃からの職員同士のコミュニケーションを大切にしており、2ユニット間の連携を上手く取ることで利用者本位の介護サービスの提供に活かしている。
- ・介護計画が非常に綿密で、入居者とその家族のニーズを最大限に取り入れたものであった。計画作成担当者は、常に介護を担当している職員と共に介護計画を作成している。また、モニタリングを毎日実施しながら、毎月入居者一人ひとりの要望と現状に沿った介護計画を作成している。
- ・開設母体が医療法人(整形外科)であり、リハビリはもちろんのこと医療面でのバックアップが非常に大きい。入居者と家族の希望により、看取りも行っている。(過去に実績あり)
入居者のADL(身体機能)が低下しても、QOLの高い日常を支援できるよう、機械浴も設置してある。入居者に最期まで安心して暮らしてもらえるよう、最大限の努力を惜しまない体制である。
- ・共用空間(リビング)・居室ともに広いスペースが確保できており、安全に快適に生活できるホームである。中庭テラスからの採光で、ホーム全体が非常に明るい雰囲気である。
- ・地域密着型サービスとは何かを常に考え、地域住民の協力を得られるよう努力すると同時に、さらに地域に貢献できるよう前向きに取り組む姿勢である。運営推進会議も積極的に開催している。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・特になし

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | ○ | |
| 記述項目 | <p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もたろうの郷ひなた苑のめざしているグループホームは、「入居者の過ごしてきた暮らし「生活習慣・くせ・こだわり・趣味など」を大切に、認知症になってもその人らしい生活が継続できるように支援すること」である。 ・入居者とその家族の思いに応える質の高い介護サービスを提供するべく、管理者が先頭立って職員全員が常に入居者の気持ちを考えて行動できるよう日々指導している。 ・常に入居者とその家族のニーズの把握に努め、職員都合で入居者の自由・尊厳を束縛することのないよう徹底した介護サービスの提供に努めている。 ・「明るく笑顔のひなた苑」のスローガンを掲げ、職員一人ひとりが常に入居者と心から接するよう意識を高める努力がなされていることがうかがえた。 | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | ○ | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | ○ | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | ○ | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | ○ | |
| 記述項目 | <p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者が「管理されている」という拘束感を感じることなく、ごく自然に自由に生活できている雰囲気であった。 ・ユニットの共用空間(ホール)には畳スペースが設けられており、時にはひとりでゆっくりと過ごせるような空間の配慮も見られる。 ・ホーム全体の広々とした間取りはとても開放的である。入居者は、両ユニットを自由に行き来しながら、思い思いに過ごしている。 ・入居者一人ひとりの希望に沿った時間の流れを尊重し、外出などもすべて職員が付き添い、入居者の要望を叶える介護サービスを行っている。 | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | ○ | |
| 7 | 個別の記録 | ○ | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | ○ | |
| 9 | チームケアのための会議 | ○ | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | ○ | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | ○ | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | ○ | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | ○ | |
| 14 | 一人でできることへの配慮 | ○ | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | ○ | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | ○ | |
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | ○ | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | ○ | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | ○ | |
| 20 | プライドを大切にされた整容の支援 | ○ | |
| 21 | 安眠の支援 | ○ | |
| 22 | 金銭管理と買い物の支援 | ○ | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | ○ | |
| 24 | 身体機能の維持 | ○ | |
| 25 | トラブルへの対応 | ○ | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | ○ | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | ○ | |
| 28 | 服薬の支援 | ○ | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | ○ | |
| 30 | 家族の訪問支援 | ○ | |
| 記述項目 | <p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の発達(意見・要望)にしっかりと耳を傾け、その人のコミュニケーション能力に応じて、時には身振りなども敷取り入れながら意思の疎通に努め、それぞれのニーズに添った介護サービスの提供を心がけている。 ・プライバシーの保護への取り組みとして、特に排泄の際には他の入居者に悟られないように配慮している。すべてにおいて入居者の人格を尊重し、心に寄り添った介護が行われている。 ・一人ひとりの経験の尊重として、入居者の書道の作品や折り鶴などをホームに飾るなど、職員のさりげない配慮が感じられた。また、入居者の作品等を展示することにより、入居者にとっても非常に励みになると感じた。 | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | ○ | |
| 32 | 災害対策 | ○ | |
| 33 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | ○ | |
| 34 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | ○ | |
| 35 | 運営推進会議を活かした取組 | ○ | |
| 36 | 地域との連携と交流促進 | ○ | |
| 37 | ホーム機能の地域への還元 | ○ | |
| 記述項目 | <p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状に満足することなく、常にサービスの向上を念頭に置き、事業所内研修(勉強会)等を実施しながらホーム全体での研鑽に積極的に取り組んでいる。また、職員の外部研修への参加も支援している。「勉強会資料」ファイルを備え、全職員が揃って質の高い介護サービスの提供が実践できるよう、情報の共有化と理解を促す取り組みがなされている。 ・「事故報告書」とともに「ヒヤリハット」ファイルが備えられており、現状継続ではなく、より良いサービス提供を目指すため、管理者を中心に問題発生時の防止と予防への対策が行われている。 ・職員同士の会話の中にもきちんとした敬語が使われており、プロ意識を感じさせる業務への取り組みが伝わってきた。 | | |